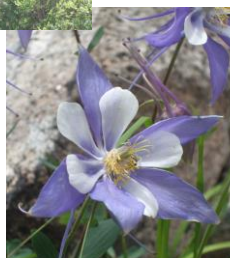




2014 年 出羽庄内国際村

教員のためのコロラドスタディツアー 実施報告書



目 次

教員のためのコロラドスタディツアー

■ このツアーの目的／ツアー期間／アメリカ・コロラド州について・・・・・・・・	2
■ スタディツアー 日程表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
■ 参加者による報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
■ ツアー参加者名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
■ 同行者より ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23

参考資料

- 授業紹介者プロフィール
- 訪問施設等の情報

教員のためのコロラドスタディツアー

● スタディツアーの目的

小学校でも外国語活動が必修となる中、それを指導する先生方の異文化体験や英語学習の経験が大きく生かされてくるのではないのでしょうか。

このプログラムでは、山形県と姉妹県州であるアメリカ・コロラド州で、非英語話者に対する英語・異文化指導を専門に行っている機関(Spring Institute)の協力を得、実践的な英語や異文化などについて学びます。また地元の小学校への訪問や、非英語圏からの児童・生徒に対して英語指導をしている教師との懇談の機会を設け、実際にアメリカで行われている英語の指導方法について学ぶとともに、ホームステイを通して英語の実践力と異なる文化への柔軟な対応力を養うことを目的としています。

● ツアー期間

2014 年 7 月 25 日～8 月 9 日 16 日間



● アメリカ合衆国 コロラド州について

- ・面積 : 26 万 9618 km² (日本の 4 分の 3)
- ・人口 : 約 5,180,000 人
- ・州都 : デンバー市
- ・気候 : 山岳、高原、砂漠と様々な

地形があり、気候も複雑なものになっている。年間を通じて好天の日が多く、デンバーの年間晴天日数は約 300 日とされている。

- ・日本との関係:

1886 年に松平忠厚が日本人として初めてコロラドの地を踏んで以来、日本人移民がデンバーにも入るようになり、炭鉱夫、鉄道工夫として出稼ぎにきた日本人がかなり居住していた。第二次世界大戦当時、西海岸に住む日系人 12 万人が内陸部に強制移住させられたが、当時のコロラド州知事ラルフ・カー氏は、迫害された日系人を温かく迎え入れた。現在山形県とコロラド州は姉妹県となっている。

コロラド州在住日系人 約 15,000 人

在留邦人 約 4,089 人 (2013 年 10 月)

● スタディツアー 日程表

・期間 2014年7月25日（金）～8月9日（土） 16日間

・日程

月 日	時 間	訪問先など	内 容 など
7/25	17:00	成田空港→ コロラド・デンバー	日本から直行便で移動
7/26 27	終日	ホストファミリーデー 希望者のみ イザベル湖	ホストファミリーと過ごす 希望者はイザベル湖ハイキング
7/28	09:00～	Class-orientation getting settle in Denver	英語授業、クラスオリエンテーショ ン、デンバーについて
	13:00～	Capital tour, bookstore	コロラド州会議堂見学、書店訪問
7/29	08:00～	Mile High Montessori School Teacher Training	マイルハイモンテッソーリ学校の教 員研修に参加。
	13:30～	モンテッソーリ学校の教授 法@Spring	Melissa Patkos 先生による、教授 法の紹介
7/30	09:00～	デンバー子ども博物館	職員による、子ども博物館のツアー。 博物館での様々な学習体験や、スポ ンサーの支援などについて学ぶ。
	13:00～	公立学校での ESL 教授法 @Spring	Demetria Montoya 先生による、公 立学校での ESL 教授方法の紹介。 様々な教材を使っの非英語話者へ の英語教育を学ぶ。
7/31	09:30～	在デンバー日本国総領事館 訪問	山口主席領事と懇談し、コロラドの 現状や日本との関係などについて理 解を深めた。（一般ツアー合同）
	12:00～	Boulder 市訪問 お茶工場視察	長距離バスでボルダー市を訪問。現 地で SI 関係者と落ち合い、市内を見 学。ボルダー市から世界に輸出され ているお茶工場を見学。
8/ 1	09:00～	英語授業@Spring	エチオピアから来た少女に、英語の 模擬授業を行った。
	12:00～	Bookies 教材店	教育関係書籍・教材店を訪問

月 日	時 間	訪問先など	内 容 など
8/ 2	終日	ホストファミリーデー	ホストファミリーと過ごす
8/ 3	10:00～	America-Japan Association picnic	コロラド日系人会ピクニックに参加。200 人分の芋煮を作り、ふるまった。また花笠踊りを披露、パンフレットを配布するなどし、山形をPRした。
8/ 4	09:00～	Museum of Science and Nature	デンバー自然科学博物館を見学
	13:00～	公立小学校見学	Linda 先生による ESL 教授法の紹介。65 の違う言語を母語とする児童が在学する学校で、どのように英語の指導が行われているかを学んだ。
8/ 5	09:00～	Mile High Montessori School	マイルハイモンテッソーリ学校を見学。児童の活動に参加。
	13:00～	Denver Art Museum	デンバーアートミュージアムを見学
8/ 6	08:00～	幼稚園見学	朝の給食時から幼稚園を見学。園児の活動に参加。
	13:00～	Colorado Mills	アウトレットモールで昼食。 英語授業の復習
	18:30～	Botanic Gardens/ Chihuly Exhibit	デンバー植物園見学。アメリカのガラス工芸家の作品を見学。SI 関係者とも交流した。
8/ 7	09:00～	英語授業と修了式 @Spring	しめくくりの授業と、SI 関係者も同席し、修了式を行った。合同昼食会。
	13:00～	デンバー水族館	デンバー水族館を見学。
8/ 8	12:40	デンバー→成田	直行便で成田へ移動
8/ 9	20:10	羽田→庄内	最終便

平成26年7月25日（金） 出発日

“Kindness Matters !”

『どんな時も、誰にでも、やさしく親切に』といった意味だろうか。スザンヌ先生のオフィスの机上に飾ってあった言葉である。

朝9：00。庄内空港から同行するメンバーだけで、記念写真を撮った。この時はあんなにすばらしい出会いと体験がわたしを待っているとは、想像すらできなかった。この研修旅行で巡り会った一人一人から、実にたくさんのことを学ぶことができた。多くの方の努力と親切のおかげで、2週間、安全に充実した生活を送ることができた。



デンバーにたどり着くまでの長い時間、一般ツアーの方ともたくさんお話をした。初めてお会いする方々ばかりだったが、志は、みんな同じである。『習うより慣れろ』の精神で、英会話を楽しみながら学びたいのだ。アメリカには英語を話せない人が多く住んでいるため、下手な英語を笑われることは絶対ない。言葉を学ぶには、人との会話を楽しむことが一番である。

デンバーに到着した時、まだ金曜のお昼であった。日本との時差は15時間で、得した気分になる。空港では、ジャン先生とタカさん（村治孝浩さん）がお出迎えしてくださった。ジャンは、わたしたち教員の担当教官である。

夕方、それぞれのホームステイ先に送っていただいた。真坂さんのホストは、14歳の双子の男の子がいるお宅。佐藤さんのホストは、わたしのホスト、レベッカのお母さん。わたしのホスト、レベッカには2人のお子さんがいた。7歳半のエステバンと2歳半のノラ。そして、愛犬スウィーティー。しかし、子どもたちは週末別居中のお父さんの家に行ってしまうため、子どもたちと過ごせたのは、平日の夜だけであった。



レベッカは、元料理学校の先生だったので、とてもおいしい夕食をいただくことができた。2週間の夢の生活がスタートした。（文責 八渡）

一番右端がスザンヌ先生

平成 24 年 7 月 26 日(土)

- 1) 訪問先: ロッキー山脈(イサベル湖)・ホームステイ
- 2) 研修内容: ロッキー山脈自然観察・ホームステイ(2 日目)
- 3) 所感

ホームステイ 2 日目。TAKA さんチームのみんなとロッキー山脈にあるイサベル湖へ向かった。車内ではTAKAさんのバスガイドのような様々な説明に感激しながら、道中を進んでいった。例えば、貨物列車は時速30～40kmで進んでいるので、100両あると通り過ぎるのに10分位かかりなかなか遮断機があがらないこと



(鶴岡では考えられない！というかそんなに待てない！)、ボルダーはアカデミックな町・スピリチュアルな町・ロハス発祥の地であること、コロラドという名称の由来(スペイン語で赤い土)等々である。目的地まで結構な距離があったのだが、目に入ってくる景色をもとに説明が繰り広げられ、楽しいドライブとなった。

いよいよ登山口に到着し、いざイサベル湖へ！でも、まずはみんなトイレへ。広さが3畳ほどあるアメリカサイズの広いトイレで、ぼっとんであった。しかし、全くにおわなかった。なぜだろう？不思議？！そんなことはともかく、ナッツやチーズ、命の水を片手に出発！！



イサベル湖までは約7km(4マイル)。途中とっても珍しい「ムース」(へらじか)に遭遇した。また州の花「コロンバイン」(西洋おだまき)を発見する等、自然を満喫しながら登っていった。山の上の方に近づいていくと木々の背丈が低くなっていることに気づくのだが、それは山の上の方は植物の育ちが3倍遅いためだという。だから花等踏まないように気をつけて歩いていった。

かなり高度が高い為、歩きはじめは会話がとぎれるほど息があがり、イサベル湖まであと少しのところでは吐き気が強くなった。これが高山病というものなのか？！しかしいざイサベル湖へ到着すると、絵葉書のような美しい風景に魅了され復活？！





お腹はすかなかったが、体力回復のためにアメリカで初めて購入したターキーサンドを食べた。すると、どこからともなくリスがやってきた。食べ物をわけてほしかったのか？人に慣れているのか？野生なのに手が届くところまでやってきた。なんとも愛らしい！



予定よりかなり遅くなり、20時に家に到着した。近所で行われるフェスティバルが19時までと聞いていたので間に合わず残念に思っていた。Host father・motherらは既に先にフェスティバルに行っていたが、子どもたちは私を待っていてくれ、21時15分から花火があるので一緒に行こうと誘ってくれた。そして一緒に5分程歩いて Host father・mother が待つ友達の家におじゃました。他のお友達もたくさんいたが、みんな温かく私を迎えてくれた。また座ると私よりずっと大きい犬たちにも歓迎された。バーベキューをごちそうになり、今日のロッキー山脈での感動を伝えた。勿論、約5～6m位までムースに近づき写真を撮ったことがうれしくていろいろな人に写真を見せると、「熊より危険な動物だぞ。」「よく生きて帰ってきたね。」と驚かれ、また大笑いされた。あんなに温厚そうに見えて、かなり危険だったのね！！

しばらくして芝生の広場に行き、花火を見た。日本と同じような打ち上げ花火であった。とても美しく、歓声がわき上がった。いつ、どこで見ても、花火は観客を魅了するものである。(ちなみに、1分間1000\$の花火だったらしい。) ホームステイ2日目にして、かなり中身の濃い充実した体験であった。

(文責 眞坂)



平成 24 年 7 月 27 日(日)

4) 訪問先:ホームステイ

5) 研修内容: ホームステイ(3 日目)

6) 所感

「ゆっくりしてていいよ。」と言われたので、今日はゆっくり起きた。今朝は Host father が車で

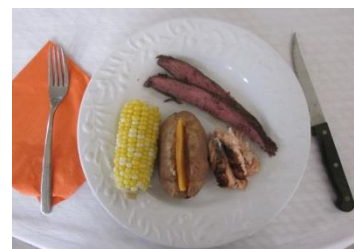


2・3分のところにあるベーグル屋さんに連れて行ってくれた。20 種類以上ありどれにするか迷ったが、おすすめの一つポテトベーグルを選んだ。そしてレジに進むと、なんと Free で犬のベーグルが置いてあったのだ！やはり犬は、アメリカでは家族の一員として大事にされていることが伺える。



12時すぎ、ダウントウンに行った。明日から通う Spring Institute の場所を教えてもらったり、16th Street を歩いたりした。特に子どもたちはお店をよく知っており、お菓子屋さんを何件か教えてくれた。そして、おすすめのあめやチョコレートを買った。あるお店では左の写真にもあるように、ソーダの種類が何十種類？もあった！飲んだことのない味がたくさんあり、お菓子の種類も豊富で、子どもたちにとっては楽しい場所であろう。また雑貨屋さんに入ると、白ワインをどうぞと差し出された。どうして？不思議でならなかった。不思議と言えばキングスーパーマーケットにある量り売りもそうである。ほしいものをほしいぶんだけ買えるのはとても魅力的であるが、会計までのシステムに文化の違いがあった。

今日の夕食は、ビーフ・サーモン・まるごとのポテト・コーン・チョコレートアイスをふるまってくれた。肉の焼き方、ポテトの焼き具合がとても上手でおいしかった。夕食をとも



にするのはまだ3日であるが、他の家の子どもたちも大人も（私にとって

結構大人数）普通と一緒にご飯を食べたり、左の写真のような庭にあるテーブルでゆったり何時間も時間をかけて夕食をとったり…………文化の違いに驚かせられた。日本は忙しすぎる？！のか？（文責 眞坂）

平成26年7月28日（月）

1) 訪問先

スプリングインスティテュート、コロラド州会議事堂、16番街モール

2) 研修内容

○スプリングインスティテュート

自己紹介とわからない時の質問の仕方についてのレッスン。

○コロラド州会議事堂 館内見学ツアーに参加。

○16番街モール ケリーさんの案内で16番街モールとその周辺、駅を散策。

3) 所感

<スプリングインスティテュート>

Jan先生と初対面。簡単な自己紹介、プリントを使用してのレッスンがあった。アメリカで第一印象がよいとされる態度として、握手や自身のある歩き方、謙虚な振る舞い、アイコンタクト、ユーモアなど15項目を例に挙げながら学んだが、日本人がよいと感じる態度と共通する部分、違う部分があった。他国では他国の文化や人付き合いの仕方があることを再認識した。

<コロラド州会議事堂>

コロラド州議会の上下両院の議場のほか、州知事室、および州副知事室が置かれていた。議事堂には、ゴールドラッシュを記念した金めっきや庁舎にはコロラド・ローズ・オニックスと呼ばれる、ばら色の大理石が用いられていた。



西側入口へと通ずる階段の15段目には、「海拔1マイル」(1,609.3m)と彫られている。しかし、その後1969年、標高の再調査が行われた際に、この階段の18段目が「海拔1マイル」にあたるとされ、2番目の印が置かれた。2003年には三たび標高の調査が行われ、この階段の13段目が「海拔1マイル」にあたることが判明し、3番目の印が置かれた。

庁舎の窓の多くはステンドグラスになっており、コロラド州の歴史上重要なできごとが描かれている。また、ホールには歴代のアメリカ合衆国大統領の肖像画が飾られている。第二次世界大戦中、強制的に収容所に入れられた在米日本人および日系アメリカ人たちの人権を守ろうとした州知事であるラルフ・ローレンス・カー知事の話もあった。

<16番街モール>

Colorado Liberty Bell、D&Fタワー、パブリックアート（音の出る歩道、牛の銅像、大きなチェスのキングとクイーンの駒）を見た後、ユニオン駅に行ってボルダー市への行き方を確認し、時刻表をもらった。16番街モールは遊歩道が1マイルほど続いていた。モール両側から無料のシャトルバスが頻繁に出ており、各交差点で乗り降りできた。モールには、カフェやいろいろなお店、ソフトドリンクの店が並び、随所にある広場では、エンターテイメントも楽しめ、ペイントされたアップライトピアノも設置されておりたくさんの人が行き交っていた。

（文責 佐藤）

平成26年7月29日（火）

1) 訪問先

午前：マイルハイモンテッソーリスクール 午後：インスティテュートにて

2) 研修内容

午前：教師の研修会を傍聴 午後：メリッサ先生の講義

3) 所感

マイルハイモンテッソーリスクール

午前中は、モンテッソーリ教育を実践している学校を訪問した。そこでは、約20人の教師が研修会で話し合っていた。わたしたち3人は、英語についていけず1時間で退散したが、引率の佐藤幸さんから話し合いの内容を伺うと、以下のような話し合いがなされていた。

- ・親子を歓迎していることをアピールする工夫
- ・生活場面では、各国の文化や習慣を尊重
- ・竜巻や銃での襲撃等の緊急事態への対応
- ・市や政府の視察に備えて（予算をカットされないように）
- ・貧困層をいかに学校に通わせるか
- ・家で読書をさせるための工夫



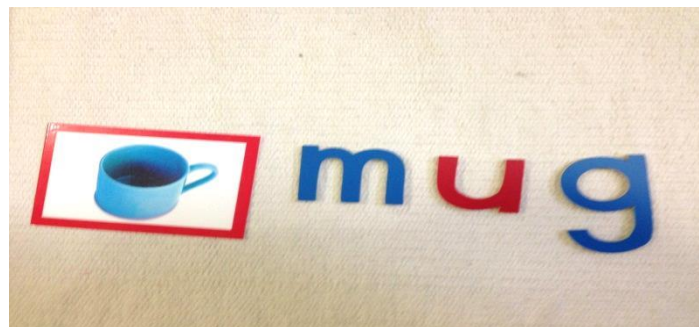
メリッサ先生の講義

午後はインスティテュートにもどり、別のモンテッソーリの学校で働いているメリッサの講義を聞き、実際使用しているたくさんの教具を紹介してもらった。

モンテッソーリ教育は、教員ならば学生時代に少しはかじっているはずである。一斉指導で知識を教えこむ教授法とは、正反対。メリッサの学校では、3～6歳までが同じオープンスペースで生活している。教室中にたくさんの教材が整備されており、子どもがその日興味を持った教材で、ほぼ1対1で支援する。『教えこむ』のではなく、『一人学びを支援する』という印象を受けた。いろんな教材があり、それが段階的に難しくなることと、独特だがカリキュラムがしっかり確立されていることに感心した。

アメリカには英語を話せない親子がたくさん住んでいて、小学校入学前に英語を学ばせるプレスクールが充実している。今日は、英語の段階的な学ばせ方も知ることができた。

（文責 八渡）



自ら気づけるように、母音だけ色を変えてある

平成26年7月30日（水）

1) 訪問先

子ども博物館、スプリングインスティテュート

2) 研修内容

○子ども博物館 Suzanne さんの案内による館内見学

○スプリングインスティテュート Demetria さんによる講義

3) 所感

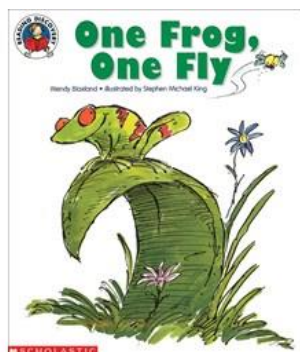
<子ども博物館>

子供連れでないと入場できない施設だが、今回は特別に案内していただいた。遊びを通して学ぶ施設で、誕生パーティーなどで貸し切りもできる。現在、増築中。消防署、市場、獣医を体験するコーナー、紙飛行機を作って飛ばすコーナーやアートスタジオ、リサイクル資源の組み立て工作、動物の着ぐるみを着て遊ぶコーナー、シャボン玉のコーナーなどたくさんのコーナーがあり、たくさんの子供たちが笑顔で遊んでいた。



<スプリングインスティテュート>

Demetria さんによる講義では、「One Frog, One Fly」という教材を使用しての実演があった。英語を指導する際は、聞く・話す・読む・書くの4項目を授業に盛り込んで指導している。読み聞かせ、登場人物の紹介、ロールプレイ、プリントに著者やタイトル、気に入った場面の絵を描くなどの学習などを展開した。その後、私たちも自分で1冊教材を選び略案を考え発表した。（文責 佐藤）



Name Megumi Date 7-30

Response Sheet



Title: One Frog, One Fly
Author: Wendy Blaxland
I like when the snake
sneezed!

平成26年7月31日（木）

1) 訪問先

在デンバー日本国総領事館、ボルダー市

2) 研修内容

○在デンバー日本国総領事館

コロラド州概要について説明を受けた。

○ボルダー市

Katya さんの案内による、ドゥシャンベ・ティーハウスでの昼食、セレッシェル・シーズニングス、パールストリートモール散策。

3) 所感

＜在デンバー日本国総領事館＞

主にコロラド州の概要、姉妹都市、日本との関係、経済について話があった。面積は26万9,618k㎡（全米8位）、人口は518万7,592人（全米第22位、2013年）、州都はデンバー市、州知事はジョン・ヒッケルンルーパー（民主党）、在留邦人数は4,089人（2013年10月）。姉妹都市は日本には10市町村あり、山形県は河北町、西川町、山形市が姉妹関係を結んでいる。日本との関係について、対日輸出額は4億4,200万米ドル（第4位、2013年）、主要輸出品目は、牛肉等の食料品、電子機器、機械類等、日本からの輸入は1,72億米ドル（第15位、2013年）、主要輸入品目は光学・画像、手術器具・医療用機器、産業用機械、電気・音響機器等、日系企業の進出数は約70社（テルモ、住友商事、東芝、リコー、日立データシステム等）。経済は、伝統的に鉱業が盛んであったが、近年では、石油・ガス産業などのエネルギー産業だけではなく、再生可能エネルギーの研究や事業も活発になっている。また、それらに加えて航空宇宙産業や医療産業も成長している。GDPは2,737億米ドル（2013年、前年比+3.8%）、年間個人所得は46,610米ドル（2013年）、失業率は5.8%

（2014年5月）、輸出額は87億米ドル（2013年）、主な輸出品目は牛肉などの食料品、電子機器、機械類、医療品、有機化学品等、主な輸出先は、カナダ、メキシコ、中国、日本等、エネルギー部門生産量の全米内順位は、天然ガス（5位）、原油・石油（10位）、太陽光発電（5位）、風力発電（10位）。



＜ボルダー市＞

初めに、ドゥシャンベ・ティーハウスでランチ。このティーハウスは、タジキスタン共和国の首都であるドゥシャンベとボルダーが姉妹都市を結んだときに、当時の大統領から送られたペルシャ様式の建物の一室で、タジキスタンの食べ物や飲み物を提供しているお店。私はタジキスタン・シシカバブをいただきました。その後、セレッシェル・シーズニングスの工場見学ツアー（約45分）に参加した。世界中から取り寄せた茶葉が

保管されておりよい香りがした。見学前に紅茶の試飲もあった。次に、パールストリートモールへ行った。さまざまなお店やレストラン、オープンカフェが並ぶ通りで、大道芸人や演奏者もおりにぎわっていた。ランナーも多く、たくさんの人が走っていた。

(文責 佐藤)

平成26年8月1日(金)

1) 訪問先

スプリングインスティテュート、本屋、Canvas and Cocktails での絵のクラス

2) 研修内容

○スプリングインスティテュート

挨拶や数えられる名詞、数えられない名詞について学習。また、エチオピアの女の子に10分程度簡単な英語を教えた。

○本屋

教材なども扱っている本屋で、教材などを購入。

3) 所感

<スプリングインスティテュート>

挨拶のさまざまな言い方(例: Hello→Hi, Hey there!, Hi there!, Hey!)と、数えられる名詞・数えられない名詞のプリントを学習した。途中、エチオピアから来た女の子に簡単な英語を教えた。単語の発音やスペルなどあいまいな部分が多かったが、一生懸命に覚えようとしている様子がうかがえた。

《学習した言い方の例》

- Hello : Hi. Hey, there! Hi there! Hey!
- How are you?:What's new? How are you doing? How's it going? What's up?
Wassup?
- Goodbye: See you. See ya. See you later. Later.
- Yes: Yeah, Yup, Sure, You bet.
- No: Nope. No way. Not a chance. Not in this lifetime.
- Let's leave: Let's book. Let's spilt.
- I'm leaving: I'm out of here. I'm heading out now.

<本屋>

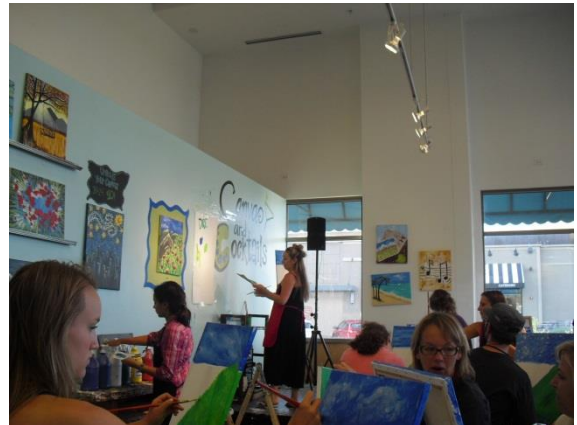
午後は、ホールフーズというオーガニック系の食材が売っているスーパーマーケットで昼食を購入し食べた後、本屋へ行った。その後、アウトレットモールに行ったりした。

本屋は、一般図書と共に各種教材も扱っていた。主に、英語教育に関する本を見て、必要なものを購入した。

<Canvas and Cocktails>

ホストファミリーのダイアンさんと共に絵の教室に参加した。お酒を飲みながら絵を描くクラスは、デンバーで人気があるそうで、約20人が参加していた。事前にインターネットで予約して参加した。その日に描く絵は決まっており、先生のトークと明るい音楽で楽しい雰囲気の中で絵を描いた。途中、お互いに絵を見合ったりなどの交流もあり、参加者の中にも3人ほど日本に住んだ経験のある人がいて、日本語で話しかけてくれた。

(文責 佐藤)



平成 24 年 8 月 2 日(土)

7) 訪問先:ホームステイ

8) 研修内容: ホームステイ(9 日目)

9) 所感

ホームステイをして 9 日、やっと自分で勝手に冷蔵庫を開けて朝食をとった。というのも、まだお家の方が起きていなかったからだ。日本では、「人の家の冷蔵庫などを勝手に開けてはいけません。」と子どもたちに指導をしていたのに、ここアメリカでは勝手に開けて食べるのは当たり前…。この文化の違いに少々戸惑っていた。

10 時くらいから 1 時間、Host mother はランニングに出かけた。その間、借りている部屋を掃除した。だが、「掃除機を貸してほしい。」というと「どうして?」と驚かれ、「日本では毎日掃除するから…。」などと伝えると、目を見開いて更に驚いていた。これも文化の違いなのか?

12 時頃昼食をとり、その後「チョコレートソフトクッキー」の作り方を Host mother から教えてもらった。Host mother は「自分はアーティストで、Host father はサイエンティストだ。」と料理をする時の様子を例えていたが、その通り!結構大胆に進められていった。しかし、パーフェクトな仕上がりで、とってもおいしかった。簡単においしくできるクッキー、是非作ってみたいと思った。

2 時 30 分頃からは、チェリークリークノースに連れて行ってもらった。とてもきれいなショッピングモールであるが、少々値段は高めである。ここではキッチン用品を売っている店を見たが、コーンをむく器具・ガーリックの皮をむく器具・ガーリックを一瞬でみじん切りにする器具・イチゴのへたをとる器具

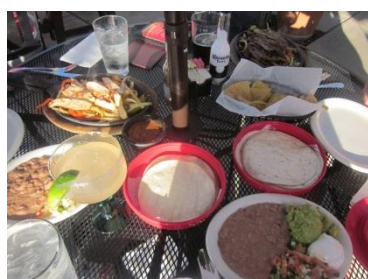
等、面白いものがたくさんあった。

その後、メキシコ料理を食べに行った。最初にマルガリータをいただ

いたのだが、日本の何倍?とにかく Big size であり、お酒も濃かった。そしてトルティーヤを初めて自分で巻いて食べたが、とってもおいしかった。アメリカに来て 2 度目のメキシコ料理であったが、くせになりそうである。残った食べ物は doggie bag に入れて持ち帰った。

この日はいつもより早めに部屋に戻った。と同時に、あの Big なマルガリータの威力が今頃になって発揮された…。明日は日系人会のピクニック。楽しみである。

(文責 眞坂)



平成26年8月3日（日）

日系人会ピクニック

コロラド日米協会が主催する『日系人会ピクニック』に全員で参加した。デンバー周辺に住んでいる日本人や留学生、日本にゆかりある外国人が集結！あまりに大勢でびっくりしたが、毎年200人くらい集まるらしい。出羽庄内国際村も、年1回のこのお祭りに合わせて渡航を計画している。

たくさんの屋台、綱引きなどのゲーム、景品がもらえる抽選会……。誰でも気軽に参加できるように、すべての催し物が無料だった。

芋煮は醤油ベースと味噌ベース、両方を作った。山形県民だからこそ、それぞれ、作り方に“譲れないこだわり”があり、見ていてとってもおもしろかった。100人分は作ったと思うが、山形の芋煮は大好評であつという間に鍋は空っぽになった！



いよいよ、花笠踊り。それまで、音楽をかけるような派手なパフォーマンスはなかったので、ものすごい注目度だった。正直、わたしは渡航前1回しか練習していなかったので、踊り自体は前列の方々にお任せしていた。そして、かけ声だけはでっかい声でやり通した。前列の皆さんは笠回しがバッチリ合っていて、とてもかっこよかった。たくさんの外国人が、ずっとビデオや写真を撮ってくれていた。そして終わってから、何人もの人が、「感動した。」とわざわざ話をしに来てくれた。

何らかの理由で、今この瞬間コロラドに住んでいるたくさんの日本人や、日本とかかわりをもつ多くの外国人と、食べ合い笑い合い、大いに語り合った。本当に素晴らしい一日だった。（文責 八渡）



6月に鶴岡に来てくれた青年たちと記念写真

平成26年8月4日（月）

1) 訪問先

自然科学博物館、ブリッジアカデミー、ボタニック・ガーデン

2) 研修内容

○自然科学博物館

館内自由見学。

○ブリッジアカデミー（パブリックスクール）

職員のリンダさんによる校内案内と教材紹介、
実演。

○ボタニック・ガーデン

館内鑑賞



3) 所感

<自然科学博物館>

ロッキーマウンテン一帯で発見された恐竜化石コレクションの他、宝石や鉱物、野生生物のジオラマ、スペース・オデッセイなども展示。また、大型スクリーンの IMAX シアターとプラネタリウムも併設されていた。しゃべったり遊んだりしながら子どもでも自由に楽しめる雰囲気があった。各コーナーには博物館の学芸員がいて興味をもった子どもにわかりやすく道具を使いながら説明していた。

<ブリッジアカデミー（パブリックスクール）>

生徒数は約 1,000 人、27 クラスあり、学年は ECE（幼児教育）からグレード 8 まである。63 か国の子どもが在籍しており、どちらかというと収入が低い家庭の子どもが多い。登校はスクールバスを利用でき、21 台運行している。朝食も無料で学校で食べることができ、学習に必要な道具も必要に応じて無料で配布されている。歯医者も併設されている。担任しているリンダさんから話を伺った。学校は広く、一つ一つの廊下には名前（例：UNIVERSITY OF DENVER 等）がついていた。2 年生からは教科担任制で子供が各教室へ移動して授業を受けている。能力別にクラスを編成している。実演では、「Fall is not easy」という本を使って行われた。導入では、四季の内容の歌を歌い（1 週間ごとに変わる）、カードを使った簡単な穴埋め問題（例：In (fall) ,the weather is (cool) and windy.）カードの文字の色は、fall と cool が同じ色になっており、視覚的にも選びやすくなっていた。その次に「Fall is not easy」を先生が読んだり、一緒に読んだり、好きな木の絵を描いたりなどした。この本の各ページの文章の最後の単語の発音は似たものになっており、発音の学習もできるようになっていた。（例：sun/done、wrong/belong、change/strange、bright/right、thin/in、grow/glow、bare/air 等）その他、空中に単語を描くときは、教師はアルファベットを鏡文字で書いていたりした。書き順はあまり気にしないとのこと。

＜ポタニク・ガーデン＞

シティパークに隣接する 23 エーカーの植物園。オーストラリアからアフリカ、ヒマラヤまで、あらゆる地域の花々 32,000 種が植えられていた。「松風園」と呼ばれる日本庭園もあった。

(文責 佐藤)

平成 24 年 8 月 5 日(火)

10) 訪問先:ホームステイ

11) 研修内容: ホームステイ(12 日目)・Class Observation Mile High Montessori School
Activity-Denver Art Museum

12) 所感

6 時 45 分に駅まで送ってもらった。そこから一人ライトレールに乗りいざ Spring Institute へ! 少し時間があつたので、スタバに寄りコーヒーを飲んだ。なんと優雅な一日の始まりであろう。



今日は、Montessori School を見学した。初めて Jan 先生も幸さんもなく、3 人だけでの見学となった。私たちが見学させていただいたクラスは、2 歳 9 ヶ月から 5 歳までの子どもたち 15 人のクラスで、先生方は交代しながら 3 人ずつで指導にあたっていた。9 時位に学校に着くとみんな朝ご飯(コンフレーク・ミルク・ジュース)を食べていた。「残さず食べよう!」ということは全くなく、食べられるだけ食べて…という感じであった。「歯磨きしましょう。」の先生の一声で歯磨きする子もいれば、まだ朝ご飯を食べ続ける子、歯磨きも終わり本を読み出す子…様々であった。一見自由にやらせているようにも見えるが、一つの指示に対しある程度幅を持たせて、待っていたように感じた。一つの活動が終わるときには、言葉がけだけではなく、ライトの光を落としたり音楽をかけたりして、活動の終了を合図していたようだ。9 時 23 分位から「How many boys?」「How many girls?」「How many friends?」と子どもたちに問いかけながらカウントしたり、たし算をしたりしていた。その後、約 1 時間の外遊びが始まった。自分の興味にしたがって遊べるように、サッカーボールやバスケットボール等を準備したり、ダンスができるようある一角に CD をかけておいたりしていた。外の遊び場は別の学校もそうであったが、土やコンクリートではなく木のチップをしきつめていた。

10 時 25 分位からは、Song・Dance・挨拶・数・曜日、日にちの言い方を学習した後、Montessori の特徴であるように、それぞれ好きな教科をそれぞれ勉強し始めていた。(写真)



学校を訪問し、実際に子どもたちの様子を伺えたことは、大変貴重な体験となった。



午後からはアートミュージアムに行った。日本の作品展が開催されており伊東深水・棟方志功などの作品が展示されていた。

15時20分頃からは、TAKAさんよりアメリカの教育について少し学んだ。教育には連邦政府からはほとんど補助がないこと等、建国の歴史に関係していることを学んだ。(文責 眞坂)

平成26年8月6日(水)

1) 訪問先

キンダーケアプレスクール

2) 研修内容

年中児クラスの保育参観(写真撮影不可)

3) 所感

全校では約150人もいて、2歳から12歳まで在籍しているようだ。敷地が広く、年齢別のクラスがたくさんあった。6歳より大きい子どもたちは、英語をあまり話せないから、小学校に行かず在籍しているのだろうか。他の教育施設がまだ夏休み中なので、欠席している子どもも多かった。

年中児24人(教師は2人)のクラスを参観した。モンテッソーリの学校と対照的で、黒人は1人もいなく、人数が多いにもかかわらずケンカもせず非常に落ち着いている。長い自由時間、友だちとぶつかる場面があっても話し合って解決している。言葉(英語)をよく知っている。

名簿一覧でチェック

出席者だけ名前が書いてあり、約30分ごと一人一人の記録を書いている。朝食を食べてきたのか?またはここで、どのくらい食べているか、日焼け止めを塗ってあげたなど、特に健康面をチェックしているようだった。

一人遊びできるたくさんの教具

ヘッドフォン付きCDブック ひも通し レゴやドミノ 粘土スペース 絵の具・・・オープンスペースにたくさんの教具がセッティングしてあり、何でも自由にやることができる。友だちと遊びながら、実はかなり学んでいるのである。実際同じ世代の日本の子どもより手先が器用だし、小さい頃から豊かな感覚や発想が培われやすい環境で生活できている。

その他

- ・すべてのドアに鍵があり、子どもは勝手に出入りできない。特に園庭につながるドアは、開けると大きなベル音が鳴る。セキュリティ対策である。
- ・スペイン語の絵本もたくさんあった。ニーズがあるからだろう。

- ・どこでも土足。ブーツの女の子もいるが、一日中靴を脱ぐことはない。
 - ・登校したら、まず朝ご飯を食べる。
 - ・朝の会で、出席者・欠席者の顔写真を分けていた。
 - ・黒板がなく、大きなノートブックやポストイットにマジックで書く。
- 食事も紙皿で、紙の大消費である。

(文責 八渡)



夜は真坂さんのバースデーパーティー

平成 24 年 8 月 7 日(木)

13) 訪問先:ホームステイ

14) 研修内容: ホームステイ(14 日目)

English Class・修了証授与・Aquarium

15) 所感

今日で授業最終日。あっという間である。

9時から10時30分まで Jan 先生との最後の文法の勉強を、10時30分から12時位までは Suzanne 先生の指導のもと、Spring Institute で学んでいる人たちと共に基礎的な文法の学習をした。

12時頃からは、修了証を全員いただき、今回のプログラムは終了した。ここに来るまでは2週間は長いかなと思っていたが、実際学んでみると時がたつのがものすごくはやく、もっと滞在し学びたいという気持ちであった。日本に帰国してからも学習を続けられるよう Jan 先生から宿題が出されたが、継続して学んでいきたいと思った。

午後からは Aquarium に行った。デンバーは山の中にある都市なのに、水族館…。どんな展示がされているのか興味津々だった。中に入ってみると、日本の水族館とは随分違うと感じた。例えば、音響にかなり凝っているアトラクションのようであったり、水族館なのにトラがいたりした。山の中の水族館を、一度は見てみるのもいい。



その後、軽い食事に出かけた。学校近くのお店で

あったが、スープやサラダが体に優しく感じた。注文や会計も、いい実践学習であった。

2週間 Jan 先生との英語の学習や、様々な Activity は本当に楽しく学ぶことができた。また英語の学習だけではなく、異文化を知ることができたのも大きな収穫である。外国を知ること、自分の国の良さを改めて知ることができ、そして課題となる点も見えてきた。更に、英語で語るために英語の技術を身につけることは大事であるが、それと同時に

と自分の国の文化や地域のことを知り、そして自分のことを語れるようにすることも大事であると感じた。「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」では、中学年から週 1 ～2 コマ程度、高学年は週 3 コマ程度に増えるだろうとされている。それに対応するためには、ALT 等を有効に活用すること、そして私たち小学校教員も英語の指導力をつけること、そして何よりも英語は苦手でも「英語は楽しい!」と教員自ら英語に向かっていくことが大事であると感じた。研修で学んだことは積極的に伝えていき、みんなで英語に対する意識を高め、楽しんで学んでいくことができるよう、アプローチしていきたいと思う。

【最後に、小学校教員プログラムを企画・運営にかかわった皆様、大変貴重な体験をさせていただき、感謝しております。有難うございました。そして一緒に学習をした先生方のおかげで、楽しく学ぶことができました。有難うございました。(^^)/ (文責 眞坂)

平成26年8月8日(金)～9日(土) 帰国 ホストファミリーとお別れ

「キープ、ミカ。」スーツケースのふたを開めようとする、エステバンがお気に入りのレゴの戦車や手製のおもちゃをプレゼントしてくれた。迎いの車が着きわたしを乗せて動き出すと、「ミカー!」と叫びながら走ってついてきたエステバン。

平日の夜しか、いっしょに過ごせなかった子どもたち。でも、そのかわいらしさは日本の子どもたちと同じであった。エステバン、ノラ、本当にありがとう!



デンバー国際空港で最後の記念写真

ジャンはわたしの永遠の先生

第1回目の教員は、我々たった3名。少人数で良かったことは、1台の乗用車で動けたことである。見学に行くにも買い物に行くにも、とにかく車が必要だった。指導教官のジャン先生からは、英語を教えてもらっただけでなく、時々家まで送迎してもらったりと生活全般に渡ってお世話になりっぱなしだった。わたしはジャンが運転する車の助手席に乗り、英語でたくさんのことを質問した。ジャンは17年東京で英語を教えた経験があり、日本文化や日本人の英語環境をよく理解している。「大人の英語を身に付けるには、話す・聞く・読む・書くだけでなく、文法(グラマー)を一度しっかり勉強すること。」と言われた。2週間の授業で、会話の基本姿勢(マナー)、名詞の複数形、時制、完了形、よく使われる俗語などを聞いた。またアイパッドを使った英語教授法や無料でダウンロードできるワークシート等も紹介してもらった。

わたしたち3人が充実した2週間を過ごすことができたのは、1番は、国際村の佐藤幸さんとこのジャン先生が同じ願いをもって、同じ方向に向かって懸命に働いてくださっているからである。鶴岡に幸さん、デンバーにジャンがいるからこそ、この草の根国際交流は、何ものにも代え難いすばらしい時間を創り出している。

さあ、小学校教員としてわたしにできることは何だろうか。とりあえず、週に1度はジャンにメールして、英語の勉強を続けよう。そして、目の前の鶴岡の子どもにデンバーで吸収してきたことを少しずつ広めていこう。英語を学ぶ楽しさを伝えていこう。（文責 八渡）

Dear JAN

Children are born with Wings,
Teachers help them to fly.
You are my private teacher forever!
I keep on listening, practicing and smiling.



スプリングインスティテュートで

● 参加者氏名

名 前	所 属 学 校
佐藤 めぐみ	山形県立鶴岡養護学校
眞坂 敦子	鶴岡市立朝暘第五小学校
八渡 美香	鶴岡市立栄小学校

(敬称略)

● 同行者氏名

名 前	所 属
佐藤 幸	(公財) 出羽庄内国際交流財団

● 同行者より

今年度初めての開催となった教員のためのコロラドスタディツアー。以前より一般向けのツアーが英語指導を受けている、英語教育の専門機関 Spring Institute (スプリング・インスティテュート) の協力を得て、英語の習得と、英語教育を含むアメリカの教育の現場を知ることの特化したツアーを実施することができました。

今回訪問した公立小学校の一つは全校児童が約 1000 人、そのうち 63 の言語を母語とする子どもたちが学校に通っているということで、通常のクラスのほかに英語を特別に教える ESL のクラスがあり、英語が母語である子どもたちにきちんと追いつけるよう、言語によって遅れをとらないように指導しているということでした。そのため、様々な方法や教材を使い、子どもがより自然に英語が学べるよう、また聞く・話す・読む・書くなど、どの能力も確実に身に付けられるような工夫がされていました。学校訪問では、英語教育だけではなく、アメリカの教育事情を見ることもできました。

初めてのプログラムということもあり、参加者のみなさんには様々な面で多大なご協力をいただきました。また現地で私たちに学校訪問や教授法の紹介など、貴重な機会をくださった地元学校などの先生方、またホームステイを含む生活のすべての面にわたってプログラムを企画・実施して下さったジャン先生はじめスプリング・インスティテュートの先生方に、心から感謝申し上げます。

今回のツアーが学校での英語教育の一助となるよう、また将来子どもたちが庄内から世界へとばたく力につながっていくよう、願っております。

(佐藤 幸)

Japanese Elementary School Teacher's Program
Trainer Profiles
July 28 – August 7, 2014

Trainer Profiles

Melissa Patkos: I'm Melissa Patkos and I look forward to meeting with you on July 29th to share briefly about the Montessori Philosophy and how Montessori teachers integrate Language (English) in the curriculum at an ECE-K level. Many of the same materials we use in the Language area can be found in Lower Elementary classrooms (1st -3rd graders). If you are a teacher of these grades I will be able to show you the transition using these materials.

As for my education and training, I have received my ECE/K Montessori Certification from the Montessori Education Center of the Rockies and I also have a Bachelor of Arts in English with an Elementary Licensure from the Metropolitan State College of Denver. I have taught in public and private schools and I currently co-teach at the Montessori School of Denver in an ECE/K classroom.

Demetria Montoya has been teaching lower elementary school for 12 years, in both private and charter schools in the Denver area. Her belief in building independence lends to her patience and abilities to help create successful, independent, confident readers and learners in her classroom. Demetria has had varied experiences from a summer tutoring business, to working as a clinician at Lindamood Bell, a company that focuses on building phonetic and comprehension skills in struggling readers. In addition, her facilitation of affinity groups at the National People of Color Conference, and her co-facilitation of the Seeking Educational Excellence and Diversity (SEED) faculty discussion group, have provided her with multiple and varied experiences of collaborating and talking about diversity and multicultural issues in personal and professional settings, honoring the perspectives of adult learners who have been peers, parents, and even strangers. In her current position at Highline Academy Charter School she enjoys collaborating and working as a part of a Professional Learning Community, striving to become a better teacher every year! Demetria is a Colorado native, and lives in Denver with her son Najee and husband Ramon.

Linda Weiss: This will be my 19th year of teaching. I have always taught second language learners. I have taught 2nd and 3rd grade and am currently teaching 1st. I am a teacher leader at Place and am also a National Board Certified Teacher. Several years ago a colleague and I went to Kenya to research the refugee relocation process. I have written curriculum for the district. I volunteer at Denver Zoo and the Denver Museum of Nature and Science.

Activities

(Some of these are scheduled, but we can also choose what you would like to see or do)

- **Colorado History Center (Museum)**

1200 Broadway, Denver, CO 80203

<http://www.historycoloradocenter.org/plan/admission>

Admission: Adult \$12 Senior \$10 (65 and older) Student \$10 (ages 13–22 with student ID) Child (ages 6–12) \$8 Child (5 and under) FREE

Hours: Everyday 10 am to 5 pm

- **Children's Museum of Denver**

2121 Children's Museum Dr. Denver, CO 80211

www.mychildsmuseum.org

Admission \$9.00

Hours: Monday, Tuesday, Thursday, Friday: 9 AM – 4 PM Wednesday: 9 AM – 7:30 PM Saturday & Sunday: 10 AM – 5 PM

- **Teacher's resource store: Park Meadows**

8680 A Park Meadows Center Dr. Littleton, CO 80124

303-768-8484

http://www.lakeshorelearning.com/general_content/store_locations/storeLocations.jsp

Hours: Monday-Friday 9:00-8:00 Saturday 10:00-8:00 Sunday 11:00-6:00

- **Denver Public Library**

10 W 14th Ave, Denver, CO 80204

(720) 865-1111

<http://denverlibrary.org/locations>

Hours: Mon 10-8 Tue 10-8 Wed 10-6 Thu 10-6 Fri 10-6 Sat 9-5 Sun 1-5

- **State Capitol Building**

200 E Colfax Ave, Denver, CO 80203

(303) 866-2604

www.milehighcity.com/capitol

Monday – Friday, 7:00 AM – 5:30 PM

- **University of Colorado**

401 University Of Colorado, Boulder, CO 80309

(303) 492-8337

<http://www.colorado.edu/>

- **Pearl Street**

1942 Broadway St #301, Boulder, CO 80302
(303) 449-3774

- **Celestial Seasons**

4600 Sleepytime Dr., Boulder, CO 80301
303-581-1202

<http://www.colorado.com/factoriesmines/celestial-seasonings-free-tours>

- **Botanical Gardens**

1007 York St, Denver, CO 80206
(720) 865-3501

<http://www.botanicgardens.org/plan-your-visit>

Hours: 9 a.m. - 9 p.m. weekdays 8 a.m. - 9 p.m. weekends Last entry at 8 p.m.,
grounds close at 9 p.m.

- **Art Museum**

100 W 14th Ave Pkwy, Denver, CO 80204
(720) 865-5000

<http://denverartmuseum.org/home?gclid=CKnfxKvu278CFUKCMgodIA8AFA>

Hours: Mon Closed Tue–Thu 10 am–5 pm Fri 10 am–8 pm* Sat–Sun 10 am–5 pm

アクティビティ Activities

- State Capital Building 州会議事堂

200 E. Colfax Ave, Denver, CO 80203

(303) 866-2604

www.colorado.gov/capitoltour

- Children's Museum of Denver デンバー子ども博物館

2121 Children's Museum Dr. Denver, CO 80211

www.mychildsmuseum.org

- Consulate-General of Japan in Denver 在デンバー日本国総領事館

1225 17th Street, Suite 3000 Denver, CO 80202

(303)534-1151

- Pearl Street パールストリート (ボルダー市)

1942 Broadway St#301, Boulder, CO 80302

(303)449-3774

- Celestial Seasons セレシヤル シーズニングス (お茶工場)

4600 Sleepytime Drive Boulder, CO 80301

(303)534-1151

- Teacher's resource store: Park Meadows 教材店

8680 A Park Meadows Center Dr. Littleton, CO 80124

(303)768-8484

- Denver Museum of Nature & Science デンバー自然科学博物館

2001 Colorado Blvd. Denver, CO 80205

(303)370.6000

- Denver Art Museum デンバー美術館

100 W 14th Ave Pkwy, Denver, CO 80204

(720)865-5000

- Denver Botanic Garden デンバー植物園

1007 York St, Denver, CO 80206

(720)865-3501

- Downtown Aquarium ダウンタウン水族館

700 Water Street, Denver, CO 80211

(303)561-4450